

放射性核種汚染の環境浄化に関する国際共同基礎研究の推進

- 1 背景
- 2 放射性核種による汚染に係る環境浄化と基礎研究
 - 2.1 環境浄化の現状
 - 2.1.1 福島（日本）
 - 2.1.2 ロッキーフラッツ（米国）
 - 2.1.3 ハンフォード（米国）
 - 2.1.4 セラフィールド（英国）
 - 2.1.5 チェルノブイリ（ウクライナ）
 - 2.2 我が国における基礎研究事例
 - 2.2.1 汚染分布の把握
 - 2.2.2 放射性核種移行の予測
 - 2.2.3 浄化手法の開発
 - 2.2.4 環境保全
- 3 基礎科学における国際協力の在り方
 - 3.1 基礎科学に関する共通課題
 - 3.1.1 地下水流動予測
 - 3.1.2 放射性核種の挙動予測
 - 3.1.3 環境浄化
 - 3.2 国際的な運営体制の提案
 - 3.2.1 背景と意義
 - 3.2.2 研究共同体への参画
 - 3.3 今後の取組
 - 3.3.1 基礎研究の方向性
 - 3.3.2 基礎科学教育
- 4 結言？